



医療と環境の体験ツアーを開催



2024年5月25日（土）京都保健会のSDGs推進委員会で「EV（電気）自動車とバイクの試乗会」「自転車発電でわたあめ作り体験」「中央病院内見学」を行いました。当日は暑い中、地域の小学生とご家族が10組参加していただきました。

病院内見学では、産婦人科で赤ちゃんの人形をだっこしたり、生まれたばかりの赤ちゃんをガラス越しに見たり、助産師よりお産についての話を聞きました。

検査室では、検査技師より子どもが興味を持ちやすいようにクイズ形式でCTの説明や、MRIの磁気の説明、エコー画像を見ました。大人も子どもも普段は聞けない話や見学できない場所に興味深々で頷いたり、驚いた様子で聞いていました。

わたあめ作り体験では、大人用の自転車でしたが、子どもたちは交代しながら自転車発電に挑戦していました。自転車で発電する場合と電気で動かす場合で比較しながら自分で棒を回してわたあめを大きくして美味しそうに食べるのが印象的でした。



EV自動車は、実際の道路を走行し、ガソリン車との運転の違いを体験できました。（EV自動車はとても静かで、加速がスムーズでした。）EVバイクは中央病院の職員用駐車場にコースを作り実際に運転して乗り心地を体験してもらいました。EVバイクはぜひ京都保健会の職員にも試乗し

てもらいたいと思っています。

参加者からは「貴重な機会をありがとうございました」「普段は見られない病院内を見学でき、お話を聞いてよかった」等の感想をいただきました。



京都保健会のSDGs推進委員会では、「京都保健会SDGs宣言書」の実現を目指し活動していきますので、皆様のご参加をお待ちしております。

京都協立病院の環境への取り組み

京都協立病院では、これといった緑化活動に取り組んでいるわけではありません。ご存じのように当病院は四方を水田に囲まれ、南東の方角に10分も歩けば高津八幡宮の鎮守の森というより山に行き当たります。高津八幡宮がそもそも小高い山の上にあります。北にも10分も歩けば、里山にたどり着きます。ゴールデンウィーク後の田植え前の水田は水が張られ、風の無い日には鏡のようにきれいに風景を映します。夏には青々と稲が成長し、緑が波打っています。秋に稲刈りが終わると、田んぼには土しか見えませんが、そのうち山々が色づき始めます。

このような環境の中で院内の緑化活動はなかなか進みませんが、6月初旬にリハビリの一環として毎年恒例のサツマイモの苗植えをしました。7月下旬には大きく葉が育ちました。10月の芋掘りを楽しみに成長を見守りっています。



SDGs の分野の1つである平和の取り組みでは、今年3月に病院の新築移転20周年を記念して職員と友の会で募金を集めて憲法九条の石碑を建立しました。この石碑の建立を出発点に職員の中で平和について考え、行動していきたいと思えます。



<第2回京都保健会 気候危機アクション・アンケートのご案内>

京都保健会では、エコアクション21推進チームの提言を受けて、2023年度からSDGs委員会を始動させています。全人類喫緊の課題である気候危機についての話題や京都保健会での取組状況等を紹介してきました。現時点での到達を確認するため、アンケートを集めさせていただきたいです。5分程度で回答できると思われれます。

回答締切は 2024年12月末です。回答者にはお土産もありますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。



京都保健会 SDGs推進委

[第2回京都保健会 気候危機アクション・アンケート](#)